



願い致します。賜りますようよろしくお



今年からは新たに「季刊誌ばうむ」として、リニューアルします。皆様にはより良い地域の情報を提供できるよう、切磋琢磨してまいりますので

地域に生まれ、地域で育ち、これからもこの地域で住み続けて行く私たちが出来ることを考え行動して行きます。



皆様にとつて素晴らしい年になりますよう社員一同願っております。

今年一年皆様が幸せでありますように！

新年あけましておめでとうございます。

昨年1月から発刊しました自社情報紙「月刊ばうむ」もおかげさまで1周年を迎えることができました。毎月読んでいた

新年明けましておめでとうございます。

2012年は、木工事業にも変わらずチャレンジ

謹んで新春のお喜び申し上げます。

今年、成長した日本でもあり、今以上に前を向いて生きる一年だと考えます。



新春号の紙面
ばうむ代表2名のあじき
昨年のごきこ
れいほく地域人ネット「山下一穂さん」
商品紹介ページ
発行所
地域人組合会社
ばうむ合同会社
TEL 0887-76-3355
FAX 0887-76-3365
〒781-3609
高知県長岡郡
本山町助藤1372
(志野川リビング協同組合内)
http://www.baum-llc.com

森 圭

藤川 豊文

事業方針

地域の中にあるまだ十分活用されていない資源を活用することで、地域の中に雇用と所得を生み出し、持続可能な地域再生の実現を目指します。

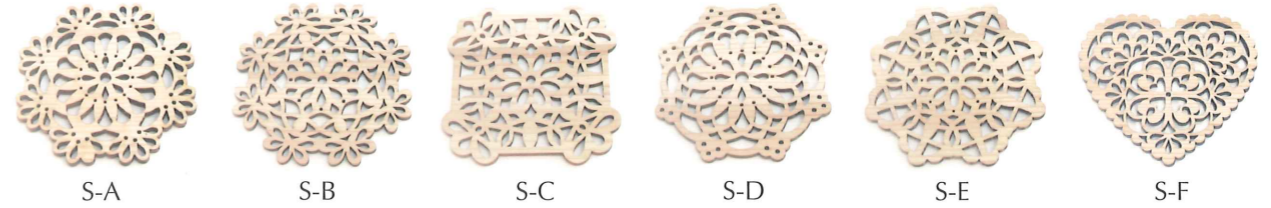
また、地域に残る豊かな自然環境を活用し、地域内外の人たちに安らぎを提供したいと思えます。

行動の原点

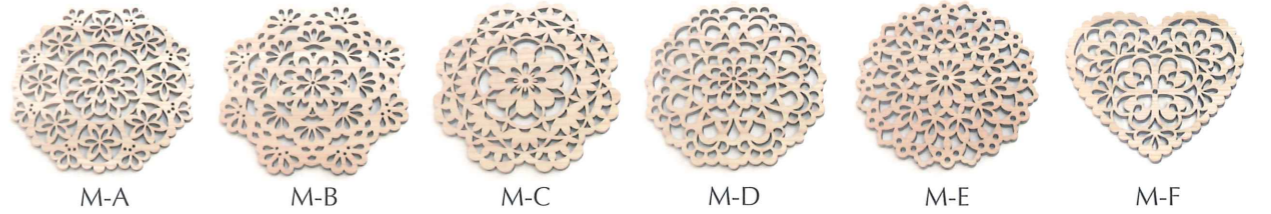
変化に期待
するのではなく
己の力で未来を拓く

「ば」 万物に感謝し、自然と人との調和によって恵みが生まれる
「う」 美しい山間の町からみんなの笑顔がこぼれるように
「む」 無限の可能性に挑戦する

Sサイズ (90×90×5mm) 各¥600-
コーヒーカップやグラス、お湯飲みにもぴったりのサイズです。



Mサイズ (110×110×5mm) 各¥900-
マグカップでも十分な大きさ。ミニ観葉植物のプランターマットとしても使えます。



moku-lace
もくレース

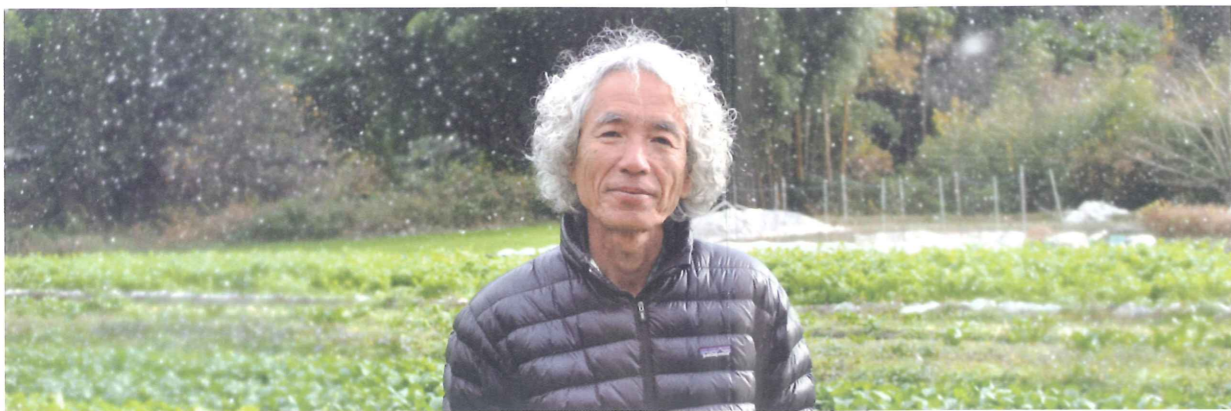
Lサイズ (180×180×6mm) 各¥2000-
鍋敷きとしてポットマットにも。飾り皿のようにプレートスタンドに立てて飾っても素敵。



moku-lace zoo M,Lサイズ M/¥900- L/¥2000-
もくレースに森の可愛いどうぶつと一緒に登場。 ※サイズによって多少変更がある場合があります。

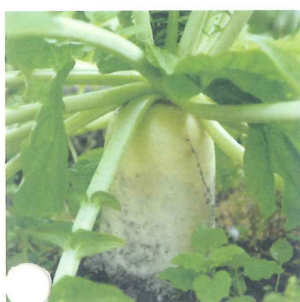


ばうむ合同会社 高知県長岡郡本山町助藤1372番地
TEL 0887-76-3355 FAX 0887-76-3365 MAIL info@baum-llc.com
HP http://www.baum-llc.com



山下一穂さん

(記事編集 ばうむ合同会社 澤田)



昭和25年1月4日高知生まれ。高校時代はバンド活動にのめりこみ、大学進学を機に上京。ミュージシャンとして銀座や新宿のクラブ等で出演する日々をおくる。昭和53年に帰郷。学習塾で講師として働くが、そのころから自然や無農薬野菜などの体によい物に目を向けるようになる。そして22年前に本山町寺家で家庭菜園を始めたことが有機農業の道へ進むきっかけとなる。14年前に就農を始め、その後も有機農業へこだわり続け、現在では土佐町「有機の学校」塾長と「山下農園」を経営しながら、有機農業についての講演や、多数の書籍を出版するなど忙しい日々を送っている。

「こだわりのないのがこだわりよ。」と笑う山下さんが有機野菜をつくる上で考案したのが「超自然農法」と呼ばれる農法で、それは畑の中で自然環境のサイクルを作り、それを縮めることにより、害虫や病気を減らし、収穫量が増え、なおかつ野菜が美味しくなるという利点がある。農家の負担も少なく、無理なく有機農業ができるという農法である。これを学ぼうと「有機の学校」には県外からの受講者も多く、ノウハウを学び、それを実践しようとする生徒達はまさに真剣そのものである。

現在、山下農園で大根、白菜、ほうれん草など多種の野菜を育て、主に高知市内や東京など関東方面へ出荷している。

今後について山下さんは「現場に落ち着きながら今まで身につけた技術を整理し、有機の学校の生徒の指導にあたりたい。」と笑みをうかべながら話す。



活動実績

- 12月 ○カーボンオフセット始動
- 11月 ○第二回地場産大賞 奨励賞受賞
- 11月 ○さくら市 デザインコンペ開催
- 11月 ○新商品もくもくリーストラップ発売
- 11月 ○土佐市 波介小学校学習机納品
- 10月 ○インターネット販売、始まる
- 10月 ○高知大生 嶺北で地域学習
- 10月 ○本山のおきやく、タイプに開催
- 10月 ○天空本山城クリーン合戦
- 9月 ○土佐偉人列伝 発売
- 8月 ○幕末志士社中販売イベント
- 8月 ○稲田塾木工教室
- 8月 ○「SLOW2011」開催
- 7月 ○J.R.鉄道グッズ発売
- 7月 ○ばうむインターンシップ研修
- 6月 ○「お山の一日先生」始まる
- 6月 ○ザニーフエスタ2011 出店
- 6月 ○大日本プロレス in れいほく大会 開催
- 5月 ○「森の恵み体験ツアー」開催
- 5月 ○「ミリカフェステイブル」出店
- 5月 ○「もくもくランド」出店
- 4月 ○「土佐経営塾」修了
- 4月 ○大杉小学校環境教育 子ども建築士実施
- 4月 ○大田小学校環境教育 木工教室実施
- 4月 ○本山小学校環境教育 木工教室実施



本山町「日本でも美しい村」連合 加盟



昨年10月8日、象に景観や環境、ヨウの生息地として北海道で開催された「日本でも美しい村」連合の臨時総会で本山町の加盟承認が決定された。

「日本でも美しい村」連合とは、フランスで行われている「フランスで最も美しい村」で最も美しい村」活動を手本とし、平成16年10月から始まった活動で、日本全国各地を対象に44の町、村、地み、そして秋の紅葉の時期には観光客で賑わう「汗見川」の景観や地域資源を活かした活性化への取り組みがあり、町内随一のビュースポットでもある「大石・吉延地区の棚田群」の景観や、平成22年静岡で開催された「お米日本一コンテスト」で最優秀賞を受賞した特選米「土佐天空の郷」の取り組みが審査され、加盟承認を受けた。

加盟承認を受け、今後の活動として、大石吉延の棚田保全と土佐天空の郷、汗見川流域の

「この連合への加盟には、人口が概ね1万人以下であること、地域資源が2つ以上あること、」連合が評価する地域資源を活かす活動があること、」などの条件のもと、審査員による厳しい審査があり、現在で

文化を守る活動を行う団体である。この団体の活動には四国内で魚梁瀬杉やゆず商品が有名高知県「馬路村」、いろいろ事業「で知られる徳島県「上勝町」などがあり、世界遺産白川郷の合掌造り集落で世界的に知られる岐阜県「白川村」や、特別天然記念物タナチ

ヨウの生息地として有名な北海道「鶴居村」といった所が加盟している。

「この連合への加盟には、人口が概ね1万人以下であること、」連合が評価する地域資源を活かす活動があること、」などの条件のもと、審査員による厳しい審査があり、現在で

本山町農業公社より販売開始されて、除き、より品質を

「土佐天空の郷」の取り組



この米ブランドは、本市の町で、大丸などの県内販売をはじめ、高松三越、都内のデパートを、さらに米を売る中心に全約70店舗で販売されている。

統一させたもので、ネットでの販売も行っており、お客さんからの反応も大変好評である。

農業公社の担当職員は「生産者を増やし、さらに数量を確保して一人でも多くのお客さんに食べて欲しい。さらには米を売る」と同時に産地を盛り上げたい」とうれしそうに話してくれた。

本山城跡



本山城跡。本山町商店街から二所神社に登る鳥居近くを曲がり、そこから10分で登るとたどり着く。そこからの眺望はきわめて良く、本日から田井の町まで一望出来る。ここは戦国時代、土佐七雄の一人である豪族本山氏が拠点としていた山城跡で、当時のもので残っているものはほとんどないが、南側は大堀切で断ち切り、独立させた城台に三段の平地を築いていることから当時はまさに「鉄壁」だったことが見てとれる。後世では森林側候所の職員住宅や警察の射撃場としても利用され、現在では静かに本山町内を見守っている。